

事例組織のその他活動

ここまで取り上げてきた地域では、紹介した事例以外にも様々な活動が行われています。ここでは特に多くの地域に参考になるとと思われるスマートフォン講習会、各種の事務作業代行、海岸などの環境整備、買い物サポートの4つについて紹介します。

スマートフォン講習会

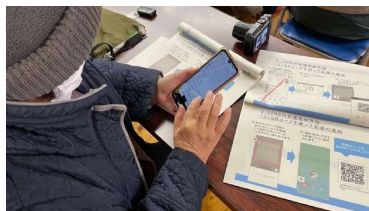
高齢者支援や災害対応、情報発信スキルの習得の一環として、スマートフォン講習会に取り組む組織が増えています。

佐伯市の青山地域コミュニティ協議会（⑤：13ページ）では、携帯電話の事業者に依頼し、LINEなどの使い方研修を実施しています。

竹田市のコミュニティひろばi-meiji（①：5ページ）では、日ごろから協議会のサポートをしている中間支援組織が講師を務め、スマートフォン講習会を行っています。インターネットの接続やLINEの操作方法、マナー等を学んでいます。



▲青山の「スマホセミナー」ではカメラや画像を使って情報を調べる方法を学びました。



▲i-meijiの「スマホ教室」では、実際にライングループに参加して、今後もお知らせや連絡が分かるようにしました。

各種事務作業の代行

地域コミュニティ組織には、常勤の事務局員を置いている組織が多くあります。それらの組織の中で、地区内の各種団体の事務を代行する組織があります。一部の事務作業は有償で請け負っており、組織の大切な収入源になっています。

中津江むらづくり役場（②：7ページ）では、放課後児童クラブや地区社会福祉協議会の事務処理を請け負っています。さらに、日田市所有施設の指定管理業務を受託し、協議会の財源を補っています。

大津留まちづくり協議会（⑧：19ページ）では、元々地区住民で行っていた「大津留広域環境保全会」の事務を受託しています。大津留まち協が事務を引き受けることで、継続が危ぶまれた集落も、活動が継続できています。

環境整備

地域では道路や水路、ため池周辺、河川敷などの草刈りはもちろん、山林、竹林、海岸など多くの環境整備を行っています。多くの地域でその継続が危ぶまれています。それらを地域コミュニティ組織で支援、実施する事例が増えています。

地域コミュニティ組織が有償ボランティアを募り、支障木の撤去や通学路の点検を行う事例が各地で見られます。

さらに奈狩江地区住民自治協議会（③：9ページ）では、奈多海岸の環境整備に力を入れています。ゴミ拾いや草刈り活動はもちろん、様々なイベントを奈多海岸で行うことで、子どもたちや移住者の人にも海岸に愛着を持ってもらおうと考えています。

加えて、奈多宿住吉海岸の松林を守る会と協力して、松林の整備や松苗植樹活動などを実施しています。



▲なかえ十五夜フェスでは、ライトアップした松林の中でライブを行い、いつもとは違う松林の魅力を伝えました。

買い物サポート

店舗の撤退など、買い物は農業や移動手段と並んで多くの地域の困りごとです。各地域では、サロンへの移動販売の誘致、タブレットでの注文、買い物バスの運行など、様々な試行錯誤が続いています。

その中で、くまげ支えあいの会「大輪」（⑨：21ページ）では、生活支援の有償ボランティアであるちょい加勢に加えて、買い物代行、買い物同行、さらに通院支援も行っています。

- ① 買物代行 1回400円（伊美地区まで）
- ② 買物同行 1回400円（伊美地区まで。2名まで同行可）
- ③ 買物同行 1回800円（国東町まで。2名まで同行可）
- ④ 通院支援 1回400円（伊美地区まで）

※ 予約制・地区住民限定
※ 伊美地区は熊本地区に隣接しスーパー、診療所などがある旧国見町の中心部



▲大輪の買い物同行では、荷物持ちだけでなく、一緒に店舗を回ります。